



救世軍

國際的見解表明

死刑



死刑についての見解表明

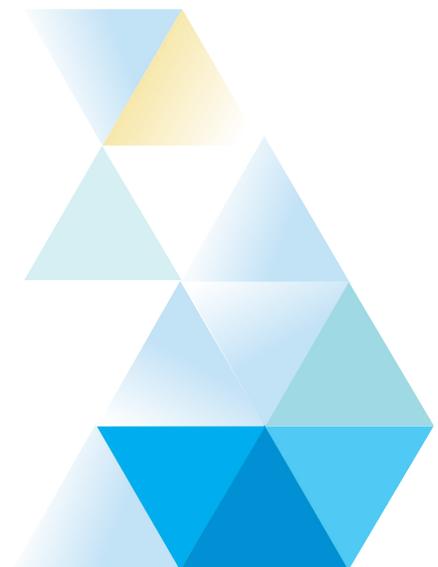
死刑とは犯罪の罰として国家によって死に処せられることです。救世軍は、正義が何であるかを定め、それを維持することが政府の責任であることは認め、そのことには刑罰が伴うことも認めますが、死刑の廃止を求めます。

人間の命は神聖なものです。人はすべて、神にかたどって創造され、他と比べられない、固有の価値をもっているのです。犯罪を犯した人たちは処罰を受けなければなりません、それはその人たちの命の尊厳を犯すことのない方法でおこなわれなければなりません。

不当に死刑に処せられたイエス・キリストは、ご自身を罪人と同一視つみびとされました。神は、イエスを通して、全人類を贖あがない、回復させ、すっかり変えようと望まれました。キリストにあって、すべての人が新しい人となることのできるのです。

救世軍は、多くの国々で、犯罪を犯し処罰を受けている人々、犯罪の犠牲になった人々、その人たちの家族に仕える働きをしています。そういう経験から、すべての人にとって、その罪が贖われ、その人が変わることが可能であるという確信が強められているのです。救世軍は、犯罪行為の結果に対してなすべきことがあることを認めつつも、それは犯罪者たちのリハビリテーションのためのものであるように、と声を上げているのです。

救世軍は命の大切さに対しては、妥協しないのです。



見解表明の背景と状況

死刑は今でも論議的的となっています。世界の大多数の国々では廃止されましたが、いくつかの国においては、いまだに合法となっています。¹

ある国々では死刑宣告が国家機密となっているので、正確な数の報告は難しいのですが、毎年、何百人もの人々が処刑されていることがわかっています。²

該当する法律の制度によると、死刑宣告が下されるのは、殺人、テロ行為、強姦^{ごうかん}、誘拐、覚醒剤取引、神への冒瀆^{ぼうとく}、その他の犯罪です。³

死刑の執行は国によって、様々な形をとります。例えば、絞首刑、銃殺刑、致死量の麻薬注射、電気死刑、ガス処刑、打ち首の刑、石打ちの刑などです。⁴

しかしながら、死刑が終身刑以上に犯罪の抑止力があるという証拠はどこにもありません。⁵

裁判における誤審から、結果として死刑という判決が出るということもあります。ある状況において、審理中の人々が貧しかったり、少数民族の人であったり、精神病を病んでいたりする場合に、死刑を宣告される可能性が大きいということを報告している調査があります。⁶ それに加えて、ある人たちは死刑を宣告された後で、無罪であったということがわかるというケースもあるのです。⁷

死刑宣告を受けた人々を含めて、投獄された人々が刑務所にいる間に改心した例は数多くあります。霊的カウンセリングと牧会ケアのための努力は、法律、法廷、刑務所、矯正プログラムを支えつつ、人々の生活を変える重要な役割を果たすのです。⁸



1 : Amnesty International (2020), 'Death Penalty Facts and Figures: 2019' . European Parliament (2019), 'Death penalty: key facts about the situation in Europe and the rest of the world' . 2 : Ibid. 3 : Wikipedia, 'Capital Punishment' , 2020. 4 : Amnesty International, 'Death Penalty' . Wikipedia, 'Capital Punishment' . Death Penalty Information Center, 'Methods of Execution' , 2020. 5 : Bailey, William C., 'Imprisonment v. the Death Penalty as a Deterrent to Murder' , Law and Human Behavior, 1(3), 239-260, 1977. 6 : Amnesty International, 'A clear scientific consensus that the death penalty does not deter' . Amnesty International, 'Death Penalty Facts' , 2012. Death Penalty Information Center, 2020. Office of the High Commissioner, United Nations Human Rights, 'Race' , 2017, and 'Death penalty disproportionately affects the poor, UN rights experts warn' , 2017. Baumgartner, F.R., Neill, B., 'Does the death penalty target people who are mentally ill? We checked' , 2017. 7 : Gross, S.R., O' Brien, B., Hu, C., Kennedy, E.H., 'Rate of false conviction in capital cases' , Proceedings of the National Academy of Sciences, 111 (20): 7230-7235, 2014. Death Penalty Information Center, 'Innocence' , 2020. 8 : OWN (Producer), Cohen, Lisa R. (Director), Serving Life (documentary motion picture), Oprah Winfrey Network (OWN), USA, 2011.

救世軍の立場の土台となるもの

人は皆、神にかたどって創造された（創世1：27）ので、人の命には大切な価値があります。罪は命の形を損そこなうことがあります。命を抹殺することはしないのです。すべての人は、例外なく、年齢、性別、人種、宗教、健康、社会的地位、何かを成し遂げる力、などに関係なく、神にとって価値のあるものであり、神の創造の中で特別な場所を得ているのです（詩編8：5）。人がどのようなことをするかにかかわらず、その人の命の価値と尊厳を消し去ってはならないのです。生きる権利は万人に共通のもので、聖書は、人間の生命は神聖なものであり、人に命を与えるのは神である（使徒17：25）と、はっきりと示しています。

生命の尊厳にもかかわらず、「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっている」（ローマ3：23）ると聖書は教えています。罪が支払う報酬は死ですが、神は恵み深く、賜物として命を与えてくださるのです（ローマ6：23）。私たちは神の恵みと憐れみを受けるにふさわしい者ではありませんが、それを受けることができます（エフェソ2：8）。エゼキエル書の中で、神はこう言っておられます。「わたしは悪人の死を喜ぶだろうか、と主なる神は言われる。彼がその道から立ち帰ることによって、生きることを喜ばないだろうか。」（エゼキエル18：23）

福音は、墮落した人類に、希望と罪の贖いを提供しています。私たちは神の恵みを受け取る者として、その恵みを他の人々に伝えていくようにと召されているのです。この恵みはイエス・キリストの生涯と教えの中に示され、実行されました。キリストに従う者たちは、キリストに似た生活をしたと願い、復讐ぞうおや憎悪ではなく、正義と謙遜

と恵みに突き動かされて生きるのです（ルカ6：27～31）。ローマの信徒への手紙はこのことについて、はっきりと教えています。「愛する人たち、自分で復讐せず、神の怒りに任せなさい。『復讐はわたしのすること、わたしが報復する』と主は言われる』と書いてあります。」（ローマ12：19）

聖書は、不正な行為によって苦しむ人の痛みを認め、そのことで傷つく人々を黙らせることはしません。「主よ、……いつまで」ですかというのは、不正が正されるようにと叫ぶ人々の嘆きの声です（ハバクク1：2）。詩編147編3節にはこうあります。主は「打ち砕かれた心の人々を癒しその傷を包んでくださる」。同様に、コリントの信徒への手紙二1章4節には、「神は、あらゆる苦難に際してわたしたちを慰めてくださる」とあります。

聖書の観点から死刑を支持する人々もいます。神が死刑を命じておられると信じているのです。救世軍は聖書をこのように解釈することを支持しません。政府は社会の中で正義をつくりだし、維持するようにと神から定められています。それをおこなうために、正義が要求する時には力を用いる権限が与えられています（ローマ13章）。しかし、現代の国家は、命を取ることせず、重大な犯罪を罰する方法をとることができるのです。



実際的な対応

1. 救世軍は、救世軍人たちが死刑に関する、聖書的に神学的に健全な理解をもつことができるように手助けします。
2. 救世軍は、世界中の死刑廃止に向けて働く国際的な機関と共に働く備えをしています。
3. 救世軍は、社会正義を擁護する他の組織と共に手をつなぐ用意があります。また、刑事上の改革を支えることになる、死に至ることのない刑罰を定める政府機関とも、共に働く用意があります。
4. 救世軍は教会として、家族や被害者、有罪を宣告された人たちに対する、専門的なカウンセリングや牧会ケアが、可能ならば、救世軍のセンターでおこなわれることを支持します。それは正義を回復し、打ち砕かれた人々の生活のリハビリテーションに役立つからです。
5. 救世軍は、牧師としての働きの経験を他の人々と分かち合います。また、犯罪を防止し、刑罰の制度が公正なもので、人道にかなったものとなるように、政府に助言していくことで協力を惜しみません。

さらに学びを深めるための参考資料

Carlson, John D., Owens, Erik C. and Elshtain, Eric P. (eds.), *Religion and the Death Penalty: A Call for Reckoning*, Eerdmans, 2004.

Catechism of the Catholic Church, Section 2267, retrieved from http://www.vatican.va/roman_curia/congregations/cfaith/documents/rc_con_cfaith_doc_20180801_catechismo-penadimorte_en.html

Claiborne, Shane, *Executing Grace: How the Death Penalty Killed Jesus and Why It's Killing Us*, HarperOne, 2016.

Clifton, Shaw, *Strong Doctrine, Strong Mercy*, The Salvation Army, International Headquarters, 1986.

Congregation for the Doctrine of the Faith, *Letter to the bishops regarding the new revision of number 2267 of the Catechism of the Catholic Church on the death penalty*, 2018, retrieved from http://www.vatican.va/roman_curia/congregations/cfaith/documents/rc_con_cfaith_doc_20180801_lettera-vescovi-penadimorte_en.html

FIACAT, 'The evolution of the Christian position on the death penalty', 2011, retrieved from <https://www.fiacat.org/en/about-us/a-christian-movement/2019-the-evolution-of-the-christian-position-on-the-death-penalty>

House, H. Wayne and Yoder, John, *The Death Penalty Debate: Two Opposing Views of Capital Punishment*, Word Publishing Group, 1991.

Wright, Christopher J.H., *Old Testament Ethics for the People of God*, InterVarsity Press, 2011.

2020年6月大将によって承認

この国際的な見解表明は、提示する問題に関する救世軍の公式の見解で構成されています。万国本営の書面による明確な許可なく、いかなる方法でも修正または改訂することはできません。

